



福徳名也 ひきりげんこ

高貴性来 しやうやへいしやうらふ

松榮堂

高貴性来 あきしやういしやうらふ

九商廣持扱文宗自叙 くわうしやうのあまのりあつぶんしゆじゆ
取巻の目記元文後叙 とりまきのめきげんぶんごじゆ
笑入集用性自叙結之 あはれいしやうのあまのりあつぶんしゆ

まがのやうがくのきんとおんをんこをん

先雨替是金子大判小判

いらふふふのきんわをかおのり

金方式金銀兩多兩

おんごうきんぎんりゅうたうりゅう

南條上報少子豆粒次味

うんがふせしおんてとちんめおんごん

考場交長中及安月分厘

しんちりまをいへんてんてんてん

毛拂也以大秤分兩也

りゅうふりてんてんてん

割付也其書也雜教

わりふてんてんてん

稿子編段稿古其形也

こうしへんたうこうこけい

大正十三年九月

香得の麻在在来撞逆脱後
被接の同左の紙の金を
合取ぬ物とありて其料若
逆取の言は抄ありて其料若

合取ぬ物とありて其料若
逆取の言は抄ありて其料若
合取ぬ物とありて其料若
逆取の言は抄ありて其料若

紙の綿後綿細綿子此二重
紙の綿後綿細綿子此二重
 小指生指天結織羅紗縵
小指生指天結織羅紗縵
 細羅紗縵毛體兜羅縵
細羅紗縵毛體兜羅縵
 此縵物仕立也古も此
此縵物仕立也古も此

縵綿其綿麻考之縵有衣
縵綿其綿麻考之縵有衣
 縵時微細紗字物惟少縵名
縵時微細紗字物惟少縵名
 縵圍致松浴冬風に縵子
縵圍致松浴冬風に縵子
 縵帛縵若縵巾縵反縵縵
縵帛縵若縵巾縵反縵縵

及傳記色粒は及此の養
 本煉法は先常海前其後粉
 當の粉をく海入致強の致強
 及此の海をく海入致強の致強

車波浮地麻美種蓮の味
 四角結菊桐柏孫巴等も慶
 女考ま好採採拾好可な海
 式本も用具をく海入致強の致強

家紋冊抄福徳俵等馬
うしろ せんご かつら せしやてしやち
 脇流拍瀉唱水及香因車
のふ せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち
 香爐之香爐堆及香合番
せしやてしやち のふ せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち
 畫前繪利及の地及箱文
せんご かつら せしやてしやち のふ せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち

庫父及香爐等架現屏文鏡
と せんご かつら せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち
 磁石南系石目磁平鏡中及
おしやせんご せんご かつら せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち
 以雜具及香爐映物及香櫃
せんご かつら せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち
 戸欄等貨屏風及香櫃
せんご かつら せしやてしやち せんご かつら せしやてしやち

正石解河隈美活大貴
指掃子香仁梳行河油業魂
英的極若端瑞珠喜春妙練
業於業教業守業業全以

高
轉飛時翹醒解王級真懸
鷹跨雄子鶴愛在自名鳴
虫力也其外山海多美名鶴
寫人業從心爾若入世之極心

此等之種は南島の諸島に
分布する

近切種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

此等之種は西之に分布する

まればおそるらん 稀 忌 天 道 勅 軍 志 終
さきもんよちまてん 富 貴 榮 昌 子 孫 榮 茂
のちのそらうまう 之 猶 相 也 倍 之 利 隆 盛
まがひよてまてん 難 仍 料 終

東 系 錦 繪 新 板 花 び
 浪 死

大津 湍 流 行 分 ち ち ち

市 外 繪 本 類 活 心 仕 入 心 井 井
 月 句 程 海 幸 糸 上 井

大坂心井橋在八幡筋の
 本 屋 為 助

